

第52回

真宗大谷派 金沢教区

同朋大会

金沢教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌テーマ

よろこびは いつもここに
—今、親鸞さまに出あう時—

2021年 5月18日 (火)
13:30~15:30

会 場 金沢東別院 本堂

講 師 おばた ぶんしょう
尾畑文正氏 (同朋大学名誉教授)

講 題 世のいのりにこころいれて
—コロナの時代に問われる人と世界—

13:00 受付
13:30 開会式
14:00 講演
15:30 閉会式

※日程は都合により変更となる場合がございます

主催 金沢教区教化委員会

お問い合わせ

真宗大谷派 金沢教務所

〒920-0854 金沢市安江町15-52 Tel/076-265-5191 Fax/076-265-5192

メール/kanazawa@higashihonganji.or.jp ホームページ/ <https://www.oyama-net.jp/>

親鸞さまが生きられた時代から問われる、今

このたび、第52回金沢教区同朋大会を開催いたします。

新型コロナウイルス感染症の時代に在って、私たちは人と会うことを恐れて孤独感を覚え、先の見えないことによる不安や、閉塞された生活に息苦しさを感ずります。また、自分を最優先にして無意識のうちに他者を排し傷つけることもあります。加えて、自分で自分を守ることができない社会的弱者が、ますます生きづらい世の中になっています。

宗祖親鸞聖人が生きられた時代も、災害や飢饉、疫病、戦が起こり、人々は恐れと不安にさいなまれました。その中で聖人も、排他する人間の在り方や苦悩する姿を目の当たりにされたことでしょう。

今回ご出向いただく尾畑文正氏は、

親鸞が明らかにした仏教、親鸞が生きた仏教は、世のいのりにこころいれて(念仏)もうしあわせる仏教であったと思います。(略)今世界に起きている様々な問題には悲しみの叫びがあり、苦しみのうめきがあり、抑圧の中で流す涙があります。

と、ご自身の著書『社会に関わる仏教』において述べられています。

念仏をもうしあわせるものとして、世の叫びを私の事として受け止め、人間存在を確かめる場にしたいと思います。そして、一人ひとりが「同朋」として、ともに歩む僧伽を形成していきたいと願っております。



おばた ぶんしょう
尾畑文正

【講師紹介】

同朋大学名誉教授・元真宗大谷派南米開教監督
真宗大谷派三重教区泉称寺前住職。同朋大学元学長。

【主な著書】

『親鸞聖人の手紙から』(東本願寺出版)『仏さまの願い—四十八のメッセージ』(東本願寺出版)『社会に関わる仏教』(樹心社)

参拝に関して

- ・本堂は100席を用意しております
- ・本堂にお座りできない場合、「真宗会館ホール」にてライブ配信をご覧ください
- ・インターネット環境があれば、ご自宅でも視聴できます

金沢教区 同朋大会 インターネットライブ 配信

当日、時間になりましたら以下の方法で動画サイトへアクセスください

方法① QRコードを読み取る

方法② URLを直接入力

【URL】 <https://youtu.be/Ku5iBG5kQcl>

方法③

おやまねっと

検索



※① 新型コロナウイルス感染症拡大により、石川県から緊急事態宣言が発令された場合は、開催を中止いたします。

※② 参詣日の体温測定にご協力ください。37.5度以上の熱がある場合は、入場をお断りさせていただきます。

※③ 下記の「参加引き換え券」を切り取りの上、当日、受付でお渡しく下さい。

キリトリ

2020年度 金沢教区同朋大会 参加引き換え券

ふりがな 氏名	男・女	当日体温 ℃	所属寺 第 組 寺
〒 - 住所:			
緊急連絡先: 電話番号 ()			